



Pepsi-Cola and Pepsi are registered trademarks of PepsiCo, Inc. Another Quality Product of PepsiCo, Inc.

神戸のサッカー

1981 9月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078) 232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

兵庫トレーニングセンター大活躍!!

第11回

ジュニア・サマー・フェスティバル

目を見はる地方のレベルアップ

第11回ジュニア・サッカー・サマー・フェスティバルは社団法人神戸フットボールクラブ主催、県、市サッカー協会ならびに県、市教育委員会の後援で8月22日から24日まで神戸中央球技場外3会場を使い、小4から中3まで67試合が行われた。

神戸FCジュニアC 準優勝…中1の部

11回目を迎えたサマー・フェスティバルは各地の少年サッカーの普及とレベルアップによって近年は充実した試合が数多く見られるようになった。

主催者の神戸FCは会員制のサッカークラブではあるが、会員のみの活動にとどまらず「サッカーの普及と振興」を願って幅広い活動を続けており、この交歓会もその最も大きな事業の一つである。3日間にわたる期間中はグラウンド整備から審判、記録、参加チームの接待にいたるまで同クラブのベテランズを中心に高校生以上の各会員と少年チームの父母がすばらしいチームワークで積極的に奉仕した。試合は小学4年生から中学3年生まで、年齢別に勝敗を争うようになっており、ユニークな大会運営は地方少年大会の模範として広く認められている。

今年は中学3年生以下の部をより充実したものにするため、参加チーム数を4チームから8チームに増やし、地元から兵庫県トレーニングセンター（兵庫TC）が初参加した。大和川洋一監督率いる兵庫TCはこの期待にこたえ、B組1位となり決勝に進出、静岡城内に2-4で敗れたものの今大会を大きく盛り上げた。

これまで、中学生年齢のトレーニングセン



(中1の部) 神戸FCジュニアC 5-3 浜松FC (8月23日、神戸中央球技場で)

ターにははっきりとした目標がなかったが、今回は8月上旬から8回にわたって県、市トレーニングを開設し、サマー・フェスティバルでその成果を発揮することができた。

中学2年生以下の部では清水FCが関西の代表的な三つのクラブチーム、枚方、交野、神戸を寄せつけず優勝した。

中学1年生以下の部では、昨年小6の部で西日本選抜を破って優勝した神戸FCが、浜松を5-3で破ったが、初日に高松に敗れたのが大きく響き、得失点差で浜松に次いで2位となった。

小学6年生以下の部では、手作りサッカーで有名な近江達氏指導の枚方が、これまでにないのびのびとしたサッカーで決勝に進出、熊本に挑戦したが、熊本のエース磯貝を押え

きれず0-2で破れた。

小学5年生以下の部では清水FCが伝統の強さを発揮し、九州で最もしっかりした少年サッカーの基礎を持つ熊本を2-0で降して優勝した。

小学4年生以下の部でも清水FCがチビっ子サッカーにしては穴のないメンバーをそろえ全勝で優勝。四日市少年団も好選手を配したが、清水に一步及ばず2位となった。

〈成績〉

試合形式はすべてリーグ戦。ただし、中3小6、小5は4チームずつのグループ・リーグの後、順位決定戦を行った。

▷中3以下の部（参加8チーム）

〔決勝〕静岡城内FC 4-2 兵庫トレセン
③広島大河FC、④伊賀上野FC、⑤清水FC、⑥高槻FC、⑦交野FC、⑦神戸FCジュニアA

▷中2以下の部（参加4チーム）

①清水FC（3勝）、②枚方FC（1勝1分1敗）、③交野FC（2分1敗）、④神戸FCジュニアB（1分2敗）

▷中1以下の部（参加4チーム）

①浜松FC（2勝1敗）、②神戸FCジュニアC（2勝1敗）、③京都紫光（1勝2敗）
④高松SS（1勝2敗）

▷小6以下の部（参加8チーム）

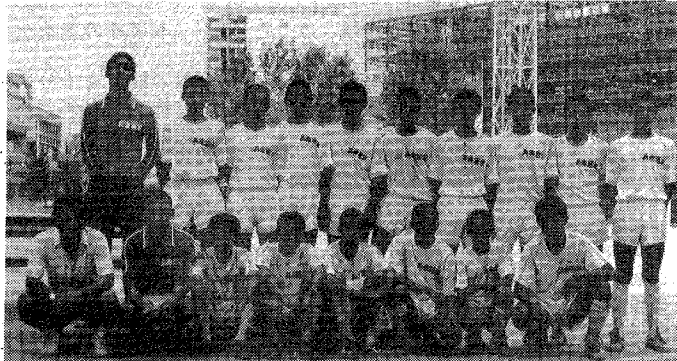
〔決勝〕熊本サッカー教室 2-0 枚方FC
③広島大河FC、④藤枝FC、⑤伊賀上野FC、⑥京都紫光、⑦交野FC、⑧神戸FCボーイズA

▷小5以下の部（参加8チーム）

〔決勝〕清水FC 2-0 熊本サッカー教室
③高槻FC、④藤枝FC、⑤浜松FC、⑥神戸FCボーイズB、⑦若松FC、⑧四日市少年団

▷小4以下の部（参加4チーム）

①清水FC（3勝）、②四日市少年団（2勝1敗）、③京都紫光（1勝2敗）、④神戸FCボーイズC（3敗）



中3の部 準優勝の兵庫県トレーニングセンター

「日の丸を夢に」 充実する トレーニングセンター・システム

日本サッカー協会では昭和52年度から長期的な日本サッカー全体の強化という観点に立って中学、高校生を対象に「トレーニングセンター・システム」を推進してきた。

このトレーニングセンターのねらいは、①クラブチームや、弱小チームに所属している優秀な人材に高いレベルの試合の場を与える。②優秀な人材を発掘するネットワークを全国にはりめぐらす。③チームの指導者が、自分のチームの立場を越えたより大きな見地に立って、良い選手の育成をしようとする協力体制を作り、市町村、都道府県、地域、中央へとその輪を広げる。――の3点であり、兵庫県協会としても今年からトレーニングセンターを選手強化の大きな柱として実施していくことになった。

そこで、この夏休みにはさっそく小学生、中学生、高校生と三部門に分かれてトレーニングセンターが実施され、各部門の優秀選手でチームを構成し、8月25、26日大阪府高槻市で行われた関西トレーニングセンターに出場した。そのメンバーと結果は次の通り。

また兵庫県からすでに中央の日本協会が指導するセントラルトレーニングセンター（CTC……中1、2年対象）とナショナルトレーニングセンター（NTC……中3、高1、高2）の候補生あるいは指定選手になっている兵庫県の選手もいる。

CTC
○土橋一雅（御原中2）○山中英勇（神戸FC中1）
NTC
○和田昌裕（御影高2）全日本16歳未満ユース代表ライオン・シティー・カップに出場。主将。
○溝畑哲朗（神戸FCユース高1）全日本16歳未満ユース代表。ライオン・シティー・カップに出場。ストッパー。
○斉藤正仁（辰美中3）

釜本、吉村氏指導 「サマー・スクール」
『エースのサッカー』サマー・スクールが8月10日から13日の三泊四日の日程で社町の生涯教育センターにおいて行われた。初日は開講式に引続いてヤンマーの釜本、吉村両氏の実技指導が行われた。釜本氏は正確なボールコントロールを身につけることを強調し、デモンストレーションにおいてもさすがワールドクラスのストライカーとして見事にプレーを見せてくれた。特

昭和56年度全国高等学校総合体
育大会サッカーの部は8月1日から8日まで横浜市と藤沢市で行われ、兵庫県代表の御影高校は1回戦徳島工業を2-0で降したものの、2回戦では準優勝の室蘭大谷に互角のゲームをしながらミドルシュートを決められ0-1で敗れた。

御影高、室蘭大谷に惜敗

初の全国大会出場を決定した瞬間に、私は兵庫の139校の代表チームとしての重責を感じ、また、現在のチーム力からして本大会までに何とかチームのレベルアップを計らなければという思いが全身を駆けぬけた。そして本大会を前に近畿の各県総体代表校が集まって行われた近畿技術講習会を一つのポイントに絞り、これらの練習試合である程度の手ごたえを感じながら本大会に臨むことができた。緒戦の徳島工業戦は初出場の堅さと宿舍でのコンディショニングの失敗から、前半は和田をはじめ、チーム全体の動きが重く、相手の時折見せるロングパスからの足の速いFWの突進で危ない場面もあったが、スイーパー丸井の好守で逃れ、両チーム共得点なく前半

に最後のゴールシュートの模範はエースのサッカーのタイトルにふさわしいものであり受講者に感動を与えた。

第2日以後は兵庫県トレセンのメンバーと国体候補選手30名が早朝から厳しいトレーニングにはげみ、爽りある講習会となった。

●びわこ国体少年の部
関西予選 和歌山に快勝

国体少年の部関西予選は8月24、25日の両日、高槻南高、摂津高で行われ、兵庫県選抜チームは、24日、大阪選抜と対戦し、1-2で敗れたが、25日、和歌山選抜に4-0と快勝し、昨年の雪辱を果たした、10月13日より滋賀県水口町で行われるびわこ国体に出場することになった。

第1戦の対大阪戦は前半、大阪のLWのドリブル突破から左スミに決められて先制されて0-1、後半15分頃、兵庫はゴール前20mのフリーキックを八木が見事なシュートを決めて同点とした。兵庫はこの試合で決着をつけるべく、負傷で休んでいたCF永島を投入したが、逆にLWからのセンターリングをヘッドで決められて1-2とされ、兵庫の反撃も実らず1-2と惜敗した。

第2戦の対和歌山戦は立ち上がりから兵庫ペースでゲームを進め、前半15分、相手パスをカットした西中がドリブルで持ち込み、ゴール正面の永島にパス、向なくプッシュして先制しその後も青木が左から持ち込んでセンターリング、永島のダイビングヘッドが決って2点目、続いて永島がバットリックを達成し、前半で勝負を決めた。兵庫は後半にも一点を追加し4-0のスコアで圧勝。昨日本大会不出場の汚名をはらした。

今年の兵庫県選抜チームは6月中旬の県民体育大会の選手から有望選手をリストアップし、兵庫県トレーニングセンターの有望選手をあわせた兵庫県選抜候補が7月20日から強化練習に入り、エースのサッカー講習合宿を経て編成されたが、国体予選終了後コーチ会議で次の様に内定した。

〈今年のチームの特徴と課題〉
○特徴…ボールコントロールの正確なテクニシャンが多いがスタミナ、瞬発力に弱点のある選手が多い。選抜チームにありがちなチームワークの不足は心配ない。
○課題…バックスの守備力、(チームディフェンス)の強化とFW、MFのディフェンス力のアップ。

チームプレーとしてはもっと積極的な動きと声を出してのプレーヤー同士の意志の伝達



を綿密にすることである。
今大会の目標はベスト4、静岡、東京などの上位の常連チームに当たらなければ十分可能性がある。

〈第36回国民体育大会少年の部兵庫県代表〉
監督 一北四郎（県技術副委員長）
コーチ 山根由雄（北須磨高）

選手 GK岡崎良治（滝川高3）、石末龍治（伊丹北高2）、DF森野和行、原田靖士、田中誠人（以上御影工3）、上谷等（伊丹西高2）、山本秀史（伊丹北高3）、MF小林公平（市立西宮高2）、八木清悟（御影工3）、青木幸二（神戸FC高3）、和田昌裕（御影高2）、望月康寛（星陵高3）、西中英伸（三原高2）FW永島昭浩（御影工2）、山下晴彦（東灘高2）、大迫欽也（尼崎北高1）

関西トレーニングセンター
兵庫県代表選手

高校の部

指導者 一北四郎（県技副委員長）
選手 GK沖原正和（西宮東）、DF奥井善久（西宮東）、跡上良二（御影工）、田坂充、白沢久則、井上教文（以上神戸FC）MF滝本修治（伊丹北）辻勝憲（御影工）、石田明豊（小野）、岩田和彦（西宮東）FW村上淳一（神戸FC）山本秀史（六甲）野口拓志（師範）

順位①兵庫4勝、②京都2勝2敗、③滋賀1勝1分2敗、④和歌山1勝1分2敗
⑤大阪2分2敗

成績 兵庫1-0大阪、兵庫6-5京都、兵庫3-2滋賀、兵庫2-1和歌山

中学の部

指導者 大和川洋一（県技委員）
選手 GK葉広健吾（丸山）、DF藤原敬武（伊丹西）永安智博、本街直樹（以上神戸FC）、山田雅之（伊丹西）MF井上佳博（龍野西）西中充治（御原）大橋賢二（神戸FC）栗井健詞（神戸FC）高須利台（神戸FC）東村和幸（上野）FW高見嘉成（龍野西）山本徹（啓明）孝橋正己（丸山）

順位①大阪4勝、②兵庫3勝1敗、③京都2勝2敗、④滋賀1勝3敗、⑤奈良4敗

成績 兵庫0-8大阪、兵庫3-2京都、兵庫3-1滋賀、兵庫2-0奈良

小学の部

指導者 松岡隆男、吉井信義、山本 恵
選手 GK板倉隆文、DF高原良作、東元義弘（以上揖保）MF上久保孝明（武庫荘）、西田光男（揖保）、藤原明夫（高丘西）FW藤田善浩（潮）池田昌彦、奥本光永、門田利隆（以上揖保）樺一哲（龍野）、米田拓治（高丘西）紫垣尚純（明石山手）

順位①大阪3勝1分、②京都3勝1敗、③兵庫2勝1敗1分、④滋賀1分3敗⑤和歌山1分3敗

成績 兵庫2-4京都、兵庫7-1滋賀、兵庫1-1大阪、兵庫7-0和歌山

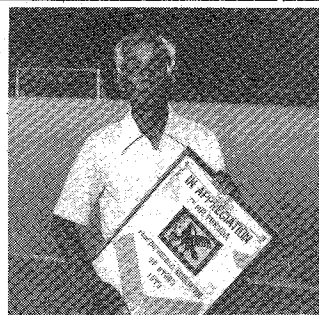
で混戦になったが、得点できずそのままゲームは終了してしまっ

た。この試合ではチーム全員が能力を十分に出して現在のチームとしては悔のないゲームができたと思う。試合終了後、心からよかったという思いで選手を迎えることができた。

全国大会に出場して試合は2回戦で負けはしたものの選手は多くのものを学んでくれた。それはただ単にサッカーの高度なテクニック等だけでなく、試合前のわずかな練習時間の切り換えの早さ、宿舍に於けるサッカーに打ち込む姿勢や生活態度等、その他多くのものを吸収して帰れたことは何事にも増して大きな収穫であった。今後はこれらの体験を生かしてすばらしいチームに成長してくれることを部員に願っている。（監督 森田哲哉）

神戸のサッカー100号の歩み

その4

号 数	組織・施設外	主 な 競 技 会
発行日	主な記事	第一種(一般) 第二種(高校生年齢) 第三種(中学生年齢) 第四種(小学生年齢) 第五種(女子)
70 号 53.12.10		・神戸FCが神戸市総体で2度目の優勝 ・神大が念願の関西学生リーグ1部復帰 ・御影工全国高校選手権へ2年連続出場 ・兵庫県中学生選手権大会で神戸FCジュニアが初優勝 ・神戸市少年サッカー指導者20人が誕生 ・兵庫県少年大会で津井が2部門で優勝 ・兵庫県少年大会女子の部優勝は八多
71 号 54. 1.10	・第2回ワールドユース選手権大会の特集「サッカーは世界の言葉」 故玉井操 前市協会会長 	・御影が神戸市少年リーグ1部で初栄冠 ・「神戸市少年リーグを終えて」田上少年委員長 ・御影が神戸市少年リーグ1部で初栄冠 ・「神戸市少年リーグを終えて」田上少年委員長 ・清水大会の神戸市少年選抜健闘むなし18位
72 号 54. 2.10	・玉井操氏が死去 	・御影工PK戦で泣く。全国高校大会でベスト8進出ならず ・「世界に通用するサッカーを」高校サッカーに思う（上野編集委員長） ・兵庫県社会人大会で川重発本が優勝し県リーグ昇格きめる ・神戸FCユースが神戸市社会人リーグを制覇 ・長野国体3位の兵庫県少年チームに兵庫県体育協会から敢闘賞 ・神戸市少年リーグ55年度からレベル別にチーム編成決定
73 号 54. 3.10	・神戸市中央球技場10周年特集――王国再建の象徴年輪さざみさらに充実 ・中央球技場建設の思い出「ファンの熱意で完成」加藤正信氏	・関学、日触を振り切り兵庫一の座へ ・兵庫県高校新人大会で御影工連続栄冠
74 号 54. 4.10	・第2回ワールドユース大会の組み合わせきまる ・日本ユース3月神戸に登場、ヤンマーに屈す ・上野勝幸編集委員長が退任、後任に橋本博之氏	・神戸市少年リーグ55年度からレベル別にチーム編成決定
75 号 54. 5.10	・ワールドユース神戸大会の勝者予想懸賞募集	・兵庫選抜チーム全日本選抜中学生大会で優勝に輝く ・神戸市少年リーグ89チームが参加して開幕 ・神戸FCレディーズ日本一ならず
76 号 54. 6.10	・54、55年度の神戸市協会の役員きまる。河本春男会長は再選	・神戸市民大会で兵庫朝鮮蹴球団が優勝 ・神戸市民大会中学生の部で神戸FC・Aが優勝
77 号 54. 7.10	・神戸市立スポーツ会館が磯上運動公園内に完成 運営管理はサッカー協会 ・ワールドユース神戸大会の出場チーム紹介	・兵庫県高校総体で西宮東堂々の初優勝し、全国大会出場へ ・国体少年の部兵庫チームの選手きまる
78 号 54. 8.10	・兵庫県協会の役員決定 市大会2回戦で敗退	・神戸市中学校総体優勝は鷹匠 磯上に完成した三木記念神戸市立スポーツ会館
79 号 54. 9.10	・ワールドユース大会はアルゼンチンが優勝。神戸大会はパラグアイ施風真剣勝負にファン陶醉 ・神戸中央球技場を世界屈指のグラウンドに育てた福田氏ワールドユース大会を機に退任 ・「NYコスモスがやってくる」米神案内 パラグアイ対韓国→ロメロのシュート  	・天皇杯全日本選手権関西大会へ双和クラブら兵庫代表8チームきまる ・神戸市総体高校の部は御影工が制覇 ・全国中学校大会の鷹匠1回戦で涙のむ ・第1回神戸市兵庫ライオンズ杯争奪少年大会57チームが参加 ・ライオンズ杯で神戸FCが1・2部で優勝し、兵庫県少年大会の出場権を得る ・ライオンズ杯女子の部優勝は有馬 ・兵庫県少年大会6年生の部は潮が優勝 ・兵庫県少年大会女子の部で有馬が優勝
80 号 54.10.10	・神戸市立スポーツ会館の運営規程きまる	・兵庫県中学生大会の神戸市代表きまる ・36人の中学生公認審判員が誕生 ・兵庫県中学生選手権で伊丹西が延長で竜野西を下し初優勝
81 号 54.11.10	・神戸市総体社会人の部は神戸FCが2年連続優勝	・宮崎国体の兵庫少年選抜1回戦で岐阜に完敗
82 号 54.12.10	・兵庫県協会がサッカートレーニングセンターを開設 ・関西信用金庫が神戸市少年チームにボール寄贈	・兵庫県社会人中央大会ベスト4きまる ・関西社会人リーグ兵庫教員3位、三菱神戸5位

号 数 発行日	組織・施設外 主な記事	主 な な 競 技 会				
		第1種(一般)	第2種(高校生年齢)	第3種(中学生年齢)	第4種(小学生年齢)	第5種(女子)
83 号 55. 1.10		・全国社会人大会の 兵庫教員、三菱神戸 上位進出ならず ・「社会人リーグの 技術アップを願う」 河北社会人委員長		・神戸市少年指導者 新しく女性4人含む 21人が登録		
84 号 55. 2.10	・座談会「サッカー王国 兵庫の再建策を語る」Ⅰ ・神戸ライオンズクラブ が少年サッカー場に長い すを寄贈	・兵庫教員団、三菱 神戸を下し兵庫一に	・神戸市高校新人戦 で優勝した御影工ら 7チームが県大会へ		・静岡大会出場の神 戸市少年選抜予選リ ーグで5位 ・神戸市少年サッカ ー功労者に中川氏ら 5人 ・神戸市少年リーグ 神戸F Cが優勝	・神戸市少年リ ーグ女子の部優 勝は箕谷
85 号 55. 3.10	・座談会「サッカー王国 兵庫の再建策を語る」Ⅱ	・神戸市社会人リ ーグ1部六甲ヒルケル が初優勝	・御影工が兵庫県高 校新人大会で3連覇	・神戸市中学生新人 大会で本庄が優勝		
86 号 55. 4.10	・座談会「サッカー王国 兵庫の再建策を語る」Ⅲ	・兵庫朝鮮蹴球団神 戸市社会人リーグ選 手権で栄冠	・神戸F Cユース香 港で大活躍 ・近畿高校選手権出 場の兵庫代表敗退	・溝畑哲朗(神戸F C)のトレセン奮戦 記		・神戸F Cレデ ィーズ香港女子 代表に惜敗
87 号 55. 5.10	・「さわやかな審判をす るために」高橋敏雄兵庫 県審判委員長		・赤川杯高校選抜支 部対抗戦シニア、ジ ュニアとも神戸優勝	・神戸市中学生選手 権で六甲初優勝	・「西日本少年招待 大会を見て」近江達 氏(枚方)	
88 号 55. 6.10	・西日本OB連盟ベテラ ンズ上海遠征	・神戸F C神戸市民 大会で優勝			・全日本少年大会神 戸F C神戸市代表と して県大会へ	・「あなたも今 女子サッカー」 蔵力夫兵庫県協 会5種委員長
89 号 55. 7.10	・「サッカーの演出者求 む」顕木新一神戸市審判 委員長 ・兵庫県協会の新役員き まる。砂田会長は留任		・御影工兵庫県高校 総体で初優勝飾る	・兵庫県中学生大会 で瓦木中優勝	・神戸F C西宮を下 し初の全日本少年大 会出場きめる	
90 号 55. 8.10	・神戸市壮年イレブン五 大都市大会で快勝	・兵庫県社会人リ ーグ前期は神戸F C、 ユースが1・2位独占		・神戸市中学校総体 も六甲が制す		
91 号 55. 9.10		・天皇杯全日本選手 権関西大会の兵庫代 表に神戸F Cら8チ ームきまる ・兵庫成年男子国体 出場へ	・全国高校総体の御 影工打倒帝京ならず ・神戸F C全国クラ ブユース大会で3位 ・国体少年の部兵庫 代表関西予選失格 ・兵庫代表関西トレ センで好成果	・48人の中学生公認 審判員が誕生	・全日本少年大会の 神戸F Cボーイズ8 強進出ならず ・県下 200人の少年 が技術講習会参加	
92 号 55.10.10	・若人の祭典ミニサッカ ーに46チーム 300人が参 加		・灘が神戸市高校リ ーグで殊勲の優勝 ・「釜山商業高校戦 を振り返って」佃氏	・全国中学校選手権 の伊丹西善戦むなし	・神戸F Cボーイズ サマーフェスティバ ルで西日本選抜破る	
93 号 55.11.10	・日米サッカーでクライ フ神戸ッ子を魅了、釜本 も大活躍	・神戸市役所神戸市 総体で初優勝 ・国体成年の部で兵 庫代表埼玉に惜敗	・関西トレセン代表 に八木ら6人	・兵庫県中学生新人 大会神戸市代表に丸 山ら7チーム	・神戸兵庫ライオン ズ杯に神戸F Cの2 年連続優勝なる ・神戸市少年指導者 新たに31人が登録	・兵庫県少年大会 女子の部優勝 は八多
94 号 55.12.10	・国際女子サッカー特集 ・神戸F C創立10周年 ・兵庫県リーダー講習会 に24人が受講		・御影工2年ぶり3 度目の全国高校選手 権出場きめる	・兵庫県中学生新人 選手権で辰美が神戸 F Cに雪辱し優勝	・兵庫県少年大会6 年生の部は神戸F C ボーイズ、4年生の 部は西淡津井が優勝	
95 号 56. 1.10	・国際女子サッカー特集 ・神戸F C創立10周年 ・兵庫県リーダー講習会 に24人が受講				・56年度より神戸市 少年団リーグが神戸 市小体連主催の行事 に編入	
96 号 56. 2.10			・全国高校選手権の 御影工並崎に屈す ・神戸市高校新人大 会で御影工連続優勝 ・兵庫県ジュニア合 宿が行われる	・関西中学生選手権 で兵庫トレセン2回 戦で敗退	・関西少年大会の神 戸F Cが兵庫代表振 るわず	
97 号 56. 3.10		・兵庫県社会人リ ーグで神戸F C初優勝 ・兵庫教員団兵庫力 ッを制す	・兵庫県高校新人大 会で御影工4年連続 優勝の偉業達成		・ウインターフェス ティバルで神戸F C ボーイズ4年ぶり3 度目の優勝	
98 号 56. 4.10	・尼崎で国際サロンプ ットボール大会開かる	・神戸市社会人リ ーグ優勝は神戸市役所	・近畿高校選手権で 御影工2度目の優勝 ・神戸市高校春季リ ーグ御影工が首位			
99 号 56. 5.10	・村上氏が2級審判員に			・神戸F Cジュニア 神戸市民大会で優勝 ・全日本選抜中学生 大会の関西選抜優勝 ならず		

兵庫教員決勝で敗れる

第二回全国教員選手権大会



第2回全国教員サッカー選手権大会は8月11日から15日まで宮崎県総合運動場に各地区予選を勝ち抜いた32チームが集まって行われ、関西予選を2-1で和歌山教員に勝ち、本大会に出場した兵庫教員は見事準優勝を果たした。

この大会は国体のサッカー種目の中で教員の部がなくなったことから昨年第1回目が行われた。兵庫教員は昨年1回戦で惜敗したが、今大会では1回戦鹿児島に5-1、2回戦山梨に6-0、3回戦神奈川に1-0と順調に勝ち進んだ。準決勝では栃木に前半疲れが出て集中の切れたところをつかれ1点を奪われたが、後半に入り押し気味のゲームとなり1点を返して1-1の同点。延長も得点なくPK戦となり4-2で勝って決勝に進出した。

決勝の相手は今回で3度目の対戦となる埼玉教員で、前半5分もたたないうちに相手フォワードがセンターリングしたボールがバックの手にあたりPKをとられ0-1となる。その後パスをつなぎ再三埼玉ゴールを攻めるが、埼玉のディフェンスを崩しきれず、逆に前半終了間際に失点し0-2となった。後半に入り、まず1点を奪い返えそうという気迫に満ちた攻撃でディフェンス陣も追上げて攻めたが、敵ハーフバックの状況判断の早い縦パスがセンターフォワードにつながり、ハーフラインから単独ドリブルで3点を失った。その後、高田が1点を返えしたが、終了5分

前に4点目を決められ結局1-4で敗れた。技術、体力の面では特に大差はなかったが、局面での状況判断の早さと正確なプレーができる選手が埼玉の方に多かったようだ。神戸市では少年サッカーが盛んであるが、中学校にサッカー部が少ないという現状から一番大事な年代に、局面での戦術眼が養われていないところに問題があり、これからの課題となるのではないだろうか。

なお、この紙面を借りまして、常日頃から兵庫教員蹴球団に御協力下さっている方々に深く感謝いたします。関根繁(長田高校)

全国クラブユース選手権

神戸FC 3位入賞

高校生年齢のクラブチーム日本一を決める昭和56年度第5回全国クラブユース選手権大会は、7月23日から4日間にわたって東京よみうりランドサッカー場で行われ、決勝で読売クラブが三菱養和を降して優勝した。

昨年グループリーグ2位で決勝進出を逃がした神戸F Cユースは「今年こそタイトル奪回」をねらって大会に臨み、グループリーグ第1戦ソシオスを2-1、第2戦横浜トライスターを7-0と一蹴。攻、守に実力以上のものを発揮して意欲的なところを見せたが、第3戦で三菱養和と死闘の末0-1で惜しくも敗れ、今年も決勝進出はならなかった。最終日、決勝に先立って行われた三位決定戦は神戸F C対枚方F Cと関西の名門クラブ

第14回全国高専大会

鹿児島高専優勝!

神戸高専健闘光る

関西で初めて行われた第14回全国高等専門学校サッカー選手権大会は8月17日から21日まで神戸中央球技場外2会場で行われ、九州代表で全日本ユースの大型CFを有する鹿児島が圧倒的な強さを発揮して4年連続5度目の優勝を飾った。

また、地元代表の明石は1回戦桐蔭に2-2の末PK戦で敗退したが、大会主管校である神戸ががんばり準決勝で北信越代表の富山に敗れたものの大会をひきしめた活躍は立派であった。

〈大会優秀選手〉

GK 国本 隆(宇部)
DF 岡本達也(富山) 野島直人(宇部)
DF 園崎 直(鹿児島) 滝本邦雄(富山)
中塚太一、小崎晴男(神戸) 井上康(大阪) 川島康裕(桐蔭)
FW 石下谷強、北園雄二、鉾立宏司(鹿児島)、上口賢一、上口朋行(富山)
中野勲(宇部) 奥村芳彦(神戸) 布田智行(宮城)

総評

高専技術委員
篠田 昭八郎

第14回全国高等専門学校サッカー選手権大会は初めて関西の地(神戸市立高専主管)で8月17日より21日まで神戸市立中央球技場外で開催された。

この大会を振りかえるに、高専サッカーの技術は年々向上し、開会式の日本サッカー協会会長のあいさつも述べられたごとく、過去の技術水準の最高が国体少年の部に県代表選手として出場する程度であったが、本年は鹿児島高専3年生上川徹が全日本ユース代表としてリエカ大会(ユーゴスラビア)で活躍し、高専関係者の努力の結果として大いに喜ばしく記念される年でもあった。この上川選手のプレーを他校高専生も一つの目標として第二、第三の上川選手が高専生より選出されることを願っている。

本年は兵庫県サッカー協会の御尽力で準決勝、決勝のゲームは神戸中央球技場を使用さ

せていただき感謝している。この球技場は日本でも指折りなグラウンドで高専生も外国チームと対戦する日本一流選手が使用する最高の会場でプレーさせていただき、一生の思い出に残ることであろう。

さて、試合の結果は鹿児島の4年連続5度目の優勝で終わったが、他高専チームの努力により、今後鹿児島の連続優勝を打破するチームの出現を願うと共に、鹿児島もなお一層努力され、5年連続以上の優勝を併せて願うものである。

技術的には8月の暑いことも加わり、前半の技術と後半の技術に格差が見られ、スタミナ不足が1、2回戦で敗退したチームに多く見られたので、地方予選終了後より練習を積み70分の試合時間フルに走れる体力を養うようお願いしたい。また、監督者会議の一部の顧問より試合時間について質問(80分)があったが、現況を考えると70分の試合でも体力が全体には十分であると見られたのが現状で残念である。来年以降の課題として、これよりのトレーニングの一つとして体力養成に取り組んでほしいものである。

同士の戦いになったが、攻撃力とチームワークに勝る神戸F Cが2-0で枚方を降し、昨年に引き続き3位を確保した。

決勝の読売対三菱養和はくしくも昨年の決勝の再現となった。しかも昨年は1-1でサドンデスの延長の末両者優勝となっただけに、その決着をつける意味で大いに興味を盛り上げたが、意外にもその結果は4-1と読売の一方的なゲームで終わり、読売は3年連続3度目の優勝を飾った。

今年の大会は、これまでの上位と下位との差がなくなり、試合内容も草サッカーから脱皮してたくましさと、するどさが見られるようになった。特にBグループの愛知F Cは優勝の読売に土をつけた唯一のチームで、全日本ユース代表でリエカ大会に行なった高木英孝16歳以下代表でライオン・シティーカップに行なった崩橋一哉を中心によくまとまった好チームであった。

なお大会期間中、「日本クラブ・ユース・サッカー連盟」の設立について準備委員会が行われ、近々発足の予定である。全国に現在ユース年齢のクラブチームは11チームあり、来年度も2-3チーム増そうである。高校のチーム数と比べるとまだ比較にならないほど少ないが過去現在ともに全日本代表やユース代表に送り込んでいる選手の数を見ると、好選手が育ってくる確率ははるかに高いといえる。そこで、これらのクラブチームを全国的に統括、運営する組織を作り、日本サッカーのレベルアップに有効に役立てようと今回の連盟設立となった。

◇グループリーグ結果◇

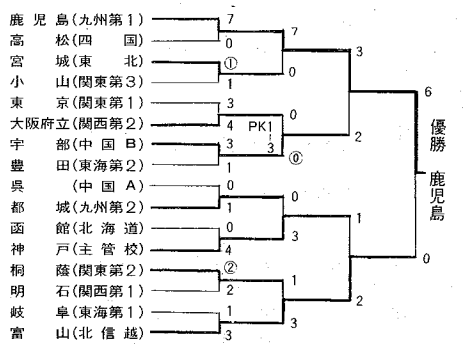
▷Aグループ(4チーム)

- ①三菱養和(東京) 3勝
- ②神戸F C(兵庫) 2勝1敗
- ③ソシオス(東京) 1分2敗
- ④横浜トライスター(神奈川) 1分2敗

▷Bグループ(4チーム)

- ①読売S C(東京) 2勝1敗 +5点
 - ②枚方F C(大阪) 2勝1敗 +4点
 - ③愛知F C(愛知) 2勝1敗 +4点
 - ④大谷場蹴友会(埼玉) 3敗
- (1-2位は得失点差、2-3位は総得点の多い方が上位)

第14回全国高等専門学校サッカー選手権大会結果



次に、本大会に警告が審判より発せられたものが4名いた。悲しいことである。特にそのうち半分の2名が鹿児島高専で準決勝対宇部戦で3-2で勝ったが、常勝鹿児島には今後警告選手の出ないよう努力をお願いしたい。20日、21日の2日にわたり開催された技術委員会でも警告選手の中に優秀選手に相当する選手も含められていたが、高専サッカー選手は技術のみでなくマナーも対象として選考する過去の実績をふまえ、選手権大会の優秀選手にはこれらの者をあえて除外したことを付記する。次年度以降の本人の努力を待ちたい。16チーム全体を見て地元主管校神戸高専の活躍がすばらしく、惜しくも準決勝富山に1-3で敗れる位となったことは本大会の盛り上がりの一つの柱となった。来年も本年と同様に一層努力され、第4回大会準優勝を上まわる成績を得るため努力されることを願っている。

最後に本大会開催されるにあたり、無事終了できたのは兵庫県サッカー協会を始め、主管校神戸市立高専関係者一同の影の力の賜物と感謝の意を表したい。

神戸FCボーイズ—無念—

決勝トーナメント進出ならず—

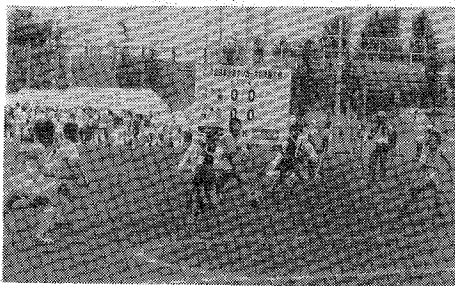
第5回
全日本少年
サッカー大会

第5回全日本少年サッカー大会は7月27日から8月1日まで、東京よみうりランド・サッカー場に全国48チームが集い、チビッコ日本一をめざして熱戦が展開された。決勝は選抜チーム同士のFC町田と古河FCが対戦し町田（東京代表）が初優勝した。

兵庫県代表として2年連続出場の中神戸FCボーイズは6日間力いっぱいプレーしたが、組別リーグで2勝3敗となりC組の5位で決勝トーナメント進出は果せなかった。

大会第1日の7月27日、開会式で各チーム堂々の入場行進には万場の拍手が起きた。その後の抽選会で神戸FCは強豪の清水FC、甲府TCと同じ第3組に入ることになった。

7月28日から組別リーグが始まり、第1戦清水FCに1-6と大敗。第2戦も長崎の多比良に0-3で敗れ、元気のない立ち上がり



神戸FC 板垣が攻め込む（神戸FC対甲府TC）

となった。29日、第3戦は秋田の旭北に幸運な得点で初の白星を上げた。第4戦はパワーとスピードの甲府TCに後半10分頃までがんばっていたが、最後に4失点し敗れた。31日組別リーグの最終戦を高知の日高と戦い4-1で勝つものの通算成績では第3組の5位にとどまった。

強豪チームと同じ組に入ったとはいえ、神戸FCらしい「のびのび、はつらつとしたプ

レー」が発揮できず残念であった。今大会の失点の多くはゴールの上をねらったロングシュートとフリーキックを浴びたもので失点以上に得点できなかったことが敗因。

近年、この大会の上位は各地方の選抜FCが占めるようになったが、今年もその例にもれず、ベスト4はすべて選抜チームであった。それらの中で河江（熊本）、多比良（長崎）は単独の小学校チームでありながら選抜チームとも好ゲームを展開し、好感が持てた。

この大会は勝利を競うだけが目的ではなく「自分のことは自分でする」をモットーに規律正しい生活を送るよう6日間厳しく指導されたが、その中にはキャンプ・ファイヤーなど楽しい催しも行われ、少年たちの今後のサッカー人生に必ず大きな糧となることだろう。（岡）

第5回 全日本少年大会第3組記録

	清水	甲府	多比良	旭北	神戸	日高	順位	勝点	点差
清水		1-0	2-2	4-0	6-1	7-0	1	9	+17
甲府	0-1		1-1	1-0	4-0	8-1	2	7	+11
多比良	2-2	1-1		1-2	3-0	10-0	3	6	+12
旭北	0-4	0-1	2-1		0-1	2-1	4	4	-4
神戸	1-6	0-4	0-3	1-0		4-1	5	4	-8
日高	0-7	1-8	0-10	1-2	1-4		6	0	-28

徳島では準優勝！

12月の清水招待少年サッカー大会を目標に神戸市少年選抜チームが本年度も6月から活動を始めた。毎週火曜日、夢野小を会場に練習会を続けてきたが、本年度は清水遠征までに可能な限りの遠征を経験させたいという計画から夏に3回の遠征を実施した。

チーム作りの段階での遠征だったので、全国各地の強豪チームの強さをいやというほど知らされたが、逆に課題もはっきりさせることができた。また、さらにレベル・アップをはかるための展望もわずかながらつかめ、有意義な遠征だった。

選手、指導者とも各地との交流ができ大きな励みになった。10月には選抜チームの再編成をする予定である。

遠征のメンバーと試合結果は以下の通り。（メンバー）

夏に3度の県外遠征

神戸市少年選抜を強化

監督 伊窪吉和、コーチ 志賀守、岡俊彦、選手 池田利一、山崎泰生（桜の宮）、田村康行、中野和平、玉井憲一、平井康裕（箕谷）浜生裕司、栗橋一浩（ひよどり台）、藤賀亘志、中尾清志（高倉台）、箕原祐志、山本武志（千歳）、藤本仁司、三谷日出夫（八多）秋本真一（鶴越）、吉田明弘（渦が森）、沢洋之（垂水SS）、瀬戸良典、下 純一（多井畑）

◇第1回北日本招待富山大会（8月2日～4日、富山市）

▷グループリーグ

第1戦 神戸市選抜 1-4 滑川中新
第2戦 神戸市選抜 2-0 富山小5トレン
第3戦 神戸市選抜 0-3 清水
第4戦 神戸市選抜 1-0 富山南部
（グループリーグ3位で決勝トーナメントへ

進出できず）

オープン戦 神戸市選抜 2-0 柳町
〃 神戸市選抜 2-2 総曲輪

◇第4回徳島市招待（8月11日～12日、徳島市）

▷グループリーグ

第1戦 神戸市選抜 1-0 国府
第2戦 神戸市選抜 1-1 福島
第3戦 神戸市選抜 1-0 大阪SC
（グループ1位で決勝トーナメント進出）

▷準決勝 神戸市選抜 1-1 清水
PK 4-3

▷決勝 神戸市選抜 0-0 玉野
PK 3-4

◇第5回高槻サマー・フェスティバル（8月21日～23日）

▷1回戦 神戸市選抜 1-0 西大冠
▷2回戦 神戸市選抜 1-0 羽曳野
▷3回戦 神戸市選抜 3-1 浜松東
▷準決勝 神戸市選抜 0-2 桃園
▷3・4位決定戦 神戸市選抜 0-2 貴生川

県下選抜200人が参加

—少年地区対抗戦も—

兵庫県少年サッカー技術講習会（主催日本協会）は8月8日、9日の両日竜野市の赤とんぼ荘と中川原運動公園で行われた。

地区行事と重なり不参加の淡路を除く県下各地区から選抜された少年達約200人が集まり、日本協会技術委員会少年育成部の塩谷英樹氏を講師に招き、試合や技術練習に汗を流

した。

8日は朝から降り出した雨で少し心配されたが、開講式の頃は晴れ上り、夕方までみっちり基礎技術の講習を受けた。夜にはサッカー選手としての心がまえや講師のサッカーの思い話を聞いた後、各部屋で仲間と楽しく過ごした。

9日に午前中練習の後、午後は参加者の期待する各地区対抗戦が行われ、その中から優秀選手30名が選ばれた。閉講式には全員に修了証が渡され参加した少年達はそれぞれの胸に大きな希望をいだいて自分達のチームに戻って行った。（県少年委員長 師田二郎）

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザーション、トーアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新聞路店 ☎078(575)7688

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理理専門学校斜め前（田上ビル1階）

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

個人購読のご案内

◆おわびと訂正

No.102号、5頁第21回神戸市中学校総体の記事の中で決勝戦で決勝ゴールを決めた選手名が近藤となっていました。但波のまちがいでした。訂正しておわび申し上げます。

◆編集後記

今月号は編集担当者が出張が多く発行日が大変おくれでしまい、皆様にはご迷惑をおかけしました。おわび申し上げます。



® Pepsi-Cola and Pepsi are registered trademarks of PepsiCo, Inc. Another quality product of PepsiCo, Inc.